平成25年５月14日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代表者名 代表取締役社長 永田 良一
（コード番号：2395 東証一部）
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
（TEL：03-5565-6216）

業績予想と実績の差異に関するお知らせ並びに営業外収益（為替差益）及び特別損失（個別決算）の計上について

平成24年５月11日に公表しております平成25年３月期（平成24年４月１日～平成25年３月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、平成25年３月期において下記の通り営業外収益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成25年３月期 業績予想と実績との差異について

（１）連結業績予想数値との差異（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	16,900	△1,600	△1,480	△1,700	△49.49
実績値（B）	17,154	△1,428	△490	△1,152	△33.56
増減額（B－A）	+254	+171	+989	+547	
増減率（%）	+1.5	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績（平成24年３月期）	15,273	△3,048	△2,843	△3,304	△96.20

（２）個別業績予想数値との差異（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,400	330	50	1.45
実績値（B）	11,428	1,215	△3,445	△100.33
増減額（B－A）	+28	+885	△3,495	
増減率（%）	+0.3	+268.4	－	
（ご参考）前年同期実績（平成24年３月期）	10,898	△51	△5,950	△173.26

（３） 差異が生じた理由

(a) 連結

前臨床事業において報告書提出リードタイムの短縮に取り組み、売上高の確保に注力いたしました。また、業務の効率化、経費の削減にグループをあげて取り組むとともに、米国前臨床事業では人員の合理化を進めてまいりました。また、国内臨床事業は、ＣＲＯ、ＳＭＯ事業ともに高稼働の状況が継続しております。

その結果、売上高、営業利益はいずれも前回予想を上回り、下記の通り、円安の進行による為替差益を計上しており、経常利益、当期純利益は前回予想を上回り、上記の通り差異が生じました。

(b) 個別

報告書提出リードタイムの短縮に取り組むと共に経費の削減、厳選に取り組みました。その結果、売上高は前回予想を上回りました。また、下記の通り、円安の進行による為替差益を計上しており経常利益は前回予想を上回りました。一方下記の通り特別損失を計上しており、当期純利益は前回予想を下回り、上記のとおり差異が生じました。

２．営業外収益（為替差益）の計上について

平成25年３月期において、昨今の為替相場の変動により、営業外収益に為替差益1,024百万円（連結決算、個別決算では996百万円）を計上いたしました。これは、主に平成25年３月期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

３．特別損失（個別決算）の計上について

平成25年３月期において、当社の連結子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも当該子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、健全性の観点から投資損失引当金繰入額3,515百万円、関係会社貸倒引当金繰入額646百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該投資損失引当金繰入額および関係会社貸倒引当金繰入額については、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以　上